

会報

2018年6月号 No. 130



←協会ロゴ兼エンブレム

16年7月制定。協会員・加藤隆久氏の力作。「ボールラケット・汗」がモチーフ。中央にボール、右上がりの紡錘形はラケットと汗。「ボールを追って流そう爽やかな汗」を動的に表す。「1973」は協会設立年。45年の歴史。



翔平 驚異の二刀流
大リーグエンゼルス
背番号17「二刀流」
4勝6本塁打。マナーも全米絶賛「翔タイプ」。新人で4月MVP。

「愛校」やんか 初優勝した「BRIO3」(前右の5人)と準優勝の「ai」のある場所(左後方の5人)



「ai」場所に複で2勝

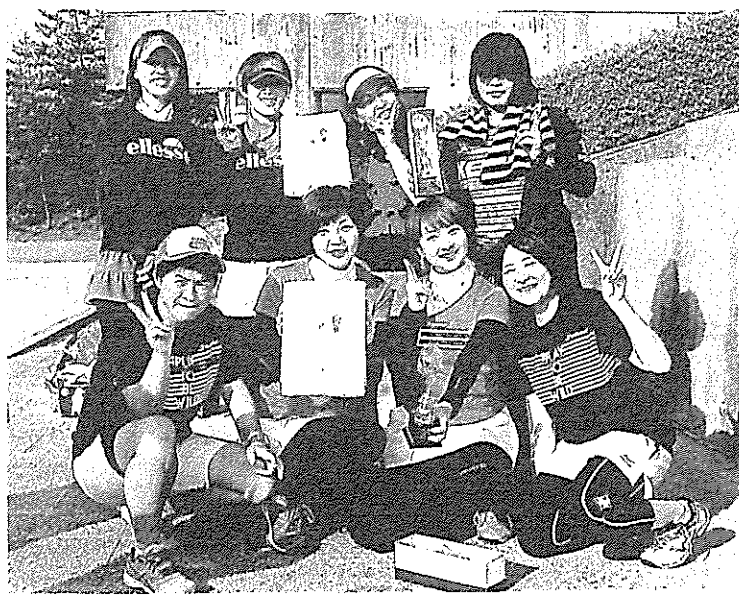
団体戦

クラブ・職場対抗団体戦(男子)複2単1、女子)複2)は1週延びて5月20日(日)市民公園で熱戦。男子は「BRIO3」(前年準優勝)が「ai」のある場所の

「BRIO3」初V

女子は「juego」が奪還

2年ぶり2度目の優勝を喜ぶ「juego」(前列)と惜しくも連覇を逃し準優勝の「丸新」(後列)



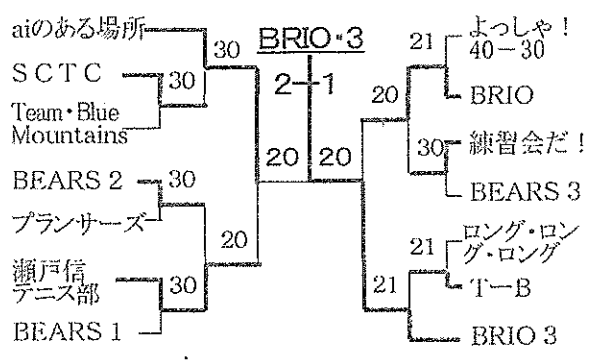
「丸新」と接戦2-0雪辱

「男子決勝」連覇を狙う「ai」のある場所」と前年準Vの「BRIO3」の対決は3戦同時スタート。「BRIO3」は単の久米が和崎に2-1で敗れたが、複の足立・森川組が5-15の競り合いから7

男子16中・欠場2
女子12中・欠場3

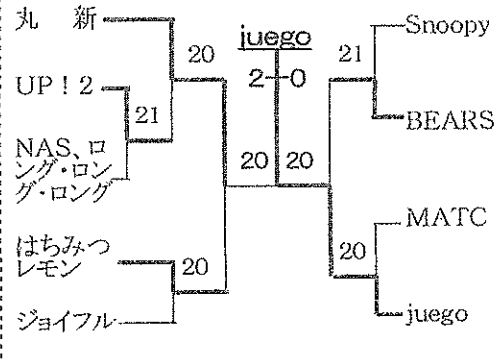
15で辛勝。1勝1敗。この時、隣の八百山・富士組は大接戦でタイブレ突入。優勝のかかったタイブレを「ヤオフジ」が7-4で取って昨年の雪辱を果たした。3決は初出場「瀬戸信」が「BRIO」に3-0の快勝。コンソレは「BEARS1」が「よっしゃー」40-30に2-1で競り勝って優勝した。【2面へつづく】

<男子戦績>



[3決] 瀬戸信 3-0 BRIO

<女子戦績>



[3決] BEARS 2-0 はちみつレモン

<行事日程>

★第69回 市民大会テニス

5月27日(日)市民公園A・B、南ヶ丘・瀬戸信金コートで午前9時～午後5時(午前7時からコート使用可)。瀬戸市内在住または在勤者に限る。協会員でも市外者は出場できない。出場枠なし。一般男子単、シニア単(男子60歳・女子50歳以上の統合戦)、一般男子複、女子複、混合複、高校男女複。参加費無料。受付=4月18日～5月9日。予備日=6月3日。4月15日付け広報掲載。

◆5月27日午前8時から体育館で総合開会式。役員、協会員多数参加を願います。

★指導者講習会

6月2日(土)、9日(土)の2回。市民公園Aで午後5時～7時。引き続き午後9時まで練習会。協会の教室講師対象。一般会員の参加大歓迎。外部コーチを招き、効果的な練習法や指導法を学ぶ。もちろん無料。受付などなし。予備日=6月16日。

★第24回 ミックスダブルス大会

6月24日(日)市民公園A・Bで午前9時～午後5時(午前7時からコート使用可)。瀬戸市内在住・在勤者または協会員のミックスダブルス。募集枠先着64組。参加費=1組2,000円(協会員は無料)。受付=5月16日～6月6日。予備日=7月1日。5月15日付け広報掲載。

★第28回 瀬戸地方高校新人戦

7月27日(金)・28日(土)、市民公園A・Bで午前7時～午後5時。瀬戸市近郊の高校1、2年生男女。単、複。参加費=1人800円。予備日=7月30日(月)。学校関係者に直接案内。

★ナイターテニス教室

8月4日、11日、18日、25日の土曜4回。市民公園Aで午後6時～午後9時。瀬戸市内在住・在勤者または協会員。先着60人募集。参加費=1人4,500円。受付=7月4日～8月1日。予備日=9月1日(土)、8日(土)。7月1日付け広報掲載。

★瀬戸協会一旭」連盟 対抗戦

8月19日(日)尾張旭・晴丘コートで午前9時～午後5時。親睦交流目的の対抗団体戦。男子複、女子複、混合複、シニア複の通算成績を競う。昨年大敗。長久手も参戦?出場希望者は稲塚会長へ申請。役員優先20人枠。昼食付き。予備日=9月23日(日)。

会費納入口座

- ◆ゆうちょ銀行
 - 店名=二〇八 店番=208
 - 普通預金口座=1411190
- ◆瀬戸市テニス協会
- ◆瀬戸信用金庫
 - 店名=共栄支店 店番=008
 - 普通預金口座=0269862
- ◆瀬戸市硬式テニス協会

◆今号発行までに会費納入のなかった方の会費納入は停止しました。

<6・7・8月の練習会>

(市民公園Aでナイター)

5月23日(水)	19時～21時	3個面
6月6日(水)	19時～21時	3個面
13日(水)	19時～21時	3個面
20日(水)	19時～21時	3個面
27日(水)	19時～21時	3個面
7月4日(水)	19時～21時	3個面
11日(水)	19時～21時	3個面
18日(水)	19時～21時	3個面
25日(水)	19時～21時	3個面
8月8日(水)	19時～21時	3個面
15日(水)	19時～21時	3個面
22日(水)	19時～21時	3個面
29日(水)	19時～21時	3個面

担当理事 6月=◎近藤峰夫、森川 繁、田中 肇
◎=責任者 7月=◎樋口剛央、久米孝幸、四俣孝子
8月=◎近藤峰夫、加藤隆久、高木淳子

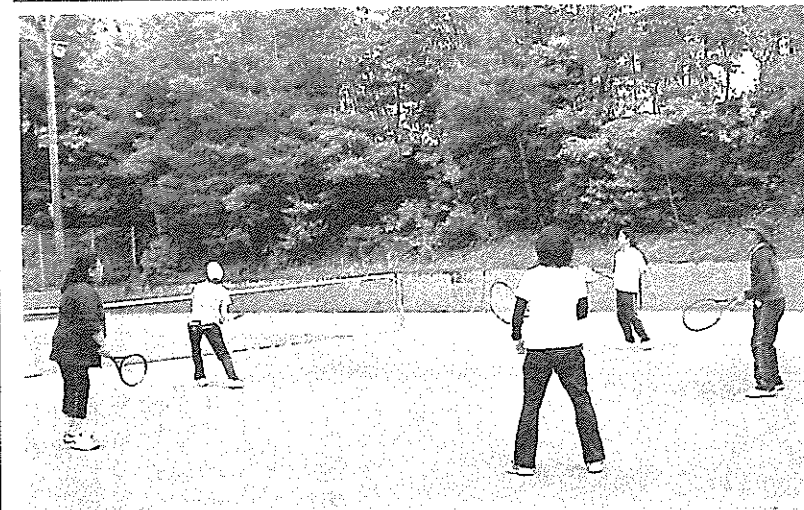
審判講習会=6月17日(日)

南ヶ丘・瀬戸信コートで午前9時～午後1時。ルール、セルフジャッジ、試合中のトラブル対処など講習後、練習会。協会員多数参加を。南ヶ丘コート(オムニ)は翌6月18日(月)から一般貸し出し。

7人腕上げてます

「レディース教室」後半へ

4月4日(水)から始まった「レディース教室」が後半に入っている。市民公園Aで毎週水曜午前9時から11時まで7人が練習に励む。全8回。雨で延びて修了は6月初め。初心・初級者中心。5人はリビーター。ストローク、ボレー、スマッシュ、サーブの個別基本技術習得から、基本技の反復練習、連発の練習を経て、ダブルス陣形での実践的段階に移る計画。ボレー、チェンジ、サイド攻防などダブルス特有のプレーやパートナーとの連携も課題になる。ルール&マナ



「カウントコールやセルフジャッジの仕方を実戦の中で学ぶ。梅雨前に修了証を手渡して閉講の予定。(開催責任者:近藤) 受講者

愛知・長谷川 準 V

プロ登竜門・MUFFINTEA

16歳以下のプロ登竜門「MUFFINTEA」(4月・東女)は全国の予選を勝ち抜いた男女各64人が熱戦。男子は有本響(14歳・東京)が優勝。女子の愛知・長谷川愛依(15歳・京都)は決勝で今村咲(15歳・京都)に敗れて準優勝。上位各3人が海外派遣される。

名城百歳ダブルス

全国から168組

第68回「全国百歳庭球トーナメント」が5月4日、名古屋・名城庭球場で開かれ168組が熱戦。協会の高木順一(88歳)父子3回戦敗退。男子最高齢は83歳・高田敏男(西区)、女子は82歳・長島千鶴(同)。二桁に戦えるだけでうれしいと奮闘。

「にじの丘学園」5月13日閉鎖の東公園(中山町)に建設の中小一貫校「にじの丘学園」と校名が決定。深川小・磯谷春斗君の命名。祖母懐、東明、古瀬戸、道泉、深川の5小学校と祖東、本山の2中学を統合。



男子コンソレ2強 「BEARS・1」(前列)と「よっしゃー! 40-30」(後列)



女子コンソレ2強 「MATC」(前列)と「NAS・ロング・ロング」(後列)

<団体戦成績>

- [男子]
優勝=BRIO・3 (八百山浩幸、久米孝幸、足立秀禎、森川繁、富士和仁、岩下亮太)
準優勝=aiのある場所 (和崎伍伍、片岡芳彦、中村恒、伊神好将、吉田久哲、原田敦也、黒岩竜二)
第3位=瀬戸信テニス部 (森康美、浅井貞孝、伊左治孝紀、松岡良一、楳本博亮、前龍之介、林篤史、久野高裕)
第4位=BRIO (鈴木愛高、坪田義正、吉永尚志、日比野康、根岸洋平、小川栄二、金川誠二、山口雄平)
- [女子]
優勝=Juego (池本麻里絵、井戸田嘉奈子、土屋菜月、沖胡美紀)
準優勝=丸新 (中野久美子、柴山千沙子、寺田ひとみ、河合利江)
第3位=BEARS (加藤千里、安田美菜、鈴木真美、福島菜摘)
第4位=はちみつレモン (藤田由佳、水谷千津留、松永明子、中村麻由)

<コンソレ>

- [男子]
優勝=BEARS 1
準優勝=よっしゃー! 40-30
第3位=ロング・ロング・ロング
第4位=T・B・M
- [女子]
優勝=MATC
準優勝=NAS・ロング・ロング・ロング
第3位=ジョイフル
第4位=Snoopy

コンソレV男子・BEARS 1 / 女子・MATC



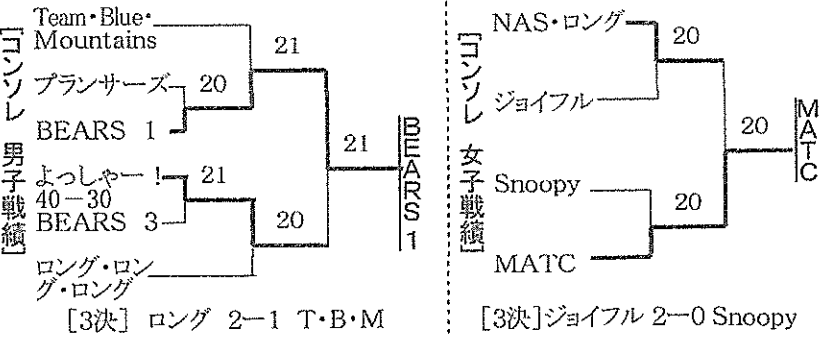
男子3位「瀬戸信」 3位の「瀬戸信テニス部」(前列)と4位の「BRIO」(後列)



女子3位「BEARS」 3位の「BEARS」(前列)と4位の「はちみつレモン」(後列)

「Juego」 強力2ヘア 終盤に底力

「女子決勝」前年準Vの「BRIO」欠場。決勝は連覇をめざす「丸新」とV奪還を狙う「Juego」の第1、第2シード対決。第1試合、「丸新」柴山中野組は「Juego」土屋・沖胡組に對し、中盤までの劣勢を盛り返して5-1の接戦。しかし土屋組に2ゲーム連取されて惜敗。第2試合、「Juego」池本・井戸田組が「丸新」寺田・河合組に6-4で競り勝って2年ぶり女王の座奪回を決めた。3決は「BEARS」が「はちみつレモン」を2-0で押し切った。コンソレ決勝は「MATC」が「NAS・ロング」に2-1で辛勝。



団体戦	[年]	[男子]	[女子]
近年の優勝チーム	2010	愛牧2	2部=K5
	2011	1部なし	2部=BRIO・A
	2012	ロング・ロング・ロング	2部=東郷製作所
	2013	YTC	サンクラブ 2部=MATC
	2014	市テニス協会	MATCひまわり
	2015	スラりん	ねこだんご
	2016	MATC	JUEGO
	2017	aiのある場所	丸新
	2018	BRIO・3	juego

◆2013年に2部を廃止。代えてコンソレを実施。本戦と同等賞品授与。女子は1勝1敗の場合、パートナーを替えて7点先取のタイブレークで勝敗を決着。男子は2-0で打ち切りも。



大坂⑥が6-3、6-2でセレナ④に快勝

マイアミ

大坂、セレナを圧倒

2回戦4位に敗退
前週「パリバ」で初優勝し、2位に上がった大坂なおみ(日清食品)は同じく大舞台の「マイアミ」1回戦で元1位・セレナ(米)と初対戦。最も

憧れの相手

第1セット5-3の第9ゲームを場内をうならせる逆転でブレイクして先行。第2セットも隙を見せず強打で押し切った。6-3、6-2の圧勝。セレナの練習相手だった大坂の現コーチ・バイン氏も「憧れの選手との対戦は難しい。落ち着

緊張を克服

きが出て、2週間前とは違う選手になった」と精神面の成長を称えた。「自分の存在を印象づけたかった」と話す大坂。この快勝で「セレナの後継者」の一番手として、世代交代を進める主役に堂々と名乗りを挙げた。

男子 瀬戸西A 優勝
女子 旭野A 4年ぶり

<高校生大会成績>

[男子]	優勝=瀬戸西A	[女子]	優勝=旭野A
	準優勝=栄徳B		準優勝=瀬戸A
	第3位=旭野A		第3位=聖霊A
			第4位=長久手A



手前から男子優勝の瀬戸西A、準Vの栄徳B、3位の旭野A



左から優勝・旭野A、準V・瀬戸A、3位・聖霊A、4位・長久手A

[年]	[男子V]	[準V]	[女子V]	[準V]
10	瀬戸西A	瀬戸西C	聖霊A	旭野A
11	栄徳A	瀬戸西C	聖霊A	長久手A
12	瀬戸西A	瀬戸A	聖霊A	旭野A
13	長久手A	栄徳A	旭野A	聖霊A
14	栄徳A	長久手A	栄徳A	旭野A
15	瀬戸西A	長久手A	栄徳A	長久手A
16	瀬戸西A	瀬戸西A	聖霊A	瀬戸A
17	栄徳A	瀬戸西A	聖霊A	旭野A
18	瀬戸西A	栄徳B	旭野A	瀬戸A

全国高校選抜(3月・博多) 名古屋、啓成4強
男子団体戦で名古屋は準決勝で四日市工に惜敗。女子の愛知啓成も準決勝で相生学院(兵庫)に競り負け、男女とも決勝進出はならず。個人戦男子単では石博(名古屋)が影山(名経大市)に辛勝して8強入りしたが準決勝で敗れた。

<男子2部 戦績>

加藤渡・加藤瑞組が激戦 卒業V 1部へ

加藤渡・加藤瑞組(前右)、準Vの金川・根岸組(前左)、3位の小川・坪田組(後左)と浅田・笠井組(後右)

準優勝の金川・根岸組も昇格

28組の熱闘。前年3位同士が組んだ加藤渡・加藤瑞組が中垣・高塚組とのタイブレークを乗り越え、準決勝の金川・根岸組との「BRIO」対決はタイブレークの末に辛勝して決勝進出。1部昇格を決めた両ペアの対戦は、加藤・加藤組が堅実なストロークとボレーで落ち着いたゲーム運び。金川・根岸組の追撃を許さず、6-2で押し切って2部卒業の優勝。

「BRIO」対決はタイブレークの末に辛勝して決勝進出。1部昇格を決めた両ペアの対戦は、加藤・加藤組が堅実なストロークとボレーで落ち着いたゲーム運び。金川・根岸組の追撃を許さず、6-2で押し切って2部卒業の優勝。

「BRIO」対決はタイブレークの末に辛勝して決勝進出。1部昇格を決めた両ペアの対戦は、加藤・加藤組が堅実なストロークとボレーで落ち着いたゲーム運び。金川・根岸組の追撃を許さず、6-2で押し切って2部卒業の優勝。

<女子2部 戦績>

女子2部 宮城・森組が制す

女子2部は色違いのウェアをそろえた宮城・森組が快進撃。小柄ながら機敏な動きと安定感のあるプレーが光った。準決勝で前年3位で第1シードの加藤・安田組に快勝。決勝も中谷・鈴木組に快勝し、2部卒業の優勝。

女子2部を制した宮城・森組(前右)、準Vの中谷・鈴木組(前左)、3位の加藤・安田組(後左)と舟田・牧野組(後右)

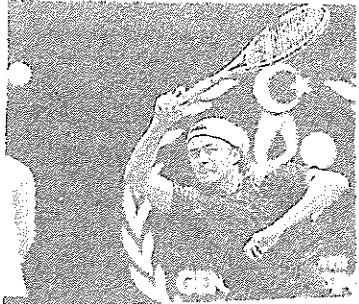
<壮年男子 戦績>

壮年男子(50歳以上)は福島・加藤組が優勝。連続完封で決勝進出した加藤孝・杉浦組を止めた。

2部は男女とも決勝進出の2ペアは1部へ昇格。パートナを替えても3年間は2部へは出場できない。但し、60歳以上は適用外。

本組を6-2で下して優勝。1部への花道を自ら飾った。

ダニエル 歓喜 ツアー 初V



イスタンブールOP

ダニエル太郎(114位・25歳・エイブル)がイスタンブールオープン決勝で78位・ジャジリ(チュニジア・34歳)に7-6、6-4で勝ち、ツアー初優勝。82位に急上昇。一時「森林ロングウッド」所屬。スエーデンから10年ぶりに日本に移す。父は米国人。191cm。本拠地をパリに3月「パリバ」でジョコビッチを破り、日本男子のツアー単V目。錦織、杉田に続く4人。松岡、錦織、杉田に続く4人。松岡、錦織、杉田に続く4人。松岡、錦織、杉田に続く4人。

錦織、ナダルに敗れ準優勝

マスターズ・モンテカルロ

男子のマスターズ・モンテカルロで36位・錦織が上位のチリッチ、A・スベレンを倒して決勝進出。1位ナダルに3-6、2-6で敗れた。

ドベージエラ(ロシア)を7-5、6-2、3回戦、62位・セッピ(伊)を6-0、2-6、6-3。準々決勝で過去7勝6敗最近3連敗の第2シード・チリッチ(3位)を6-4、6-7、6-3。準決勝は第3シード・ズベレフ(4位)を3-6、6-1、6-4で連破。完全復活か。過去2勝9敗のナダルとの決勝は完敗。4度目挑戦もマスターズ初戦で途中棄権



モンテカルロ決勝でナダルに敗れた錦織

1-2初Vならず。ナダルは3年連続11度目V。賞金1億2千万円。錦織22位に上昇。

錦織得意のバルセロナ 初戦で途中棄権
翌週「バルセロナ」、錦織は過去好成績。第14シード。42位。杉田に7-6、7-6で辛勝した69位。ガルシアアロ、ベスト

初戦。第1セットを3-6で失い第2セット第1ゲーム、右脚痛で棄権。ナダルが連勝。

全仏前「イタリア国際」 逆転負け4強ならず
全仏前哨戦「イタリア国際」で24位。錦織は33位。ロベスに7-6、6-1で辛勝。2回戦は4位・ディミトロフを6-1、7-5、6-4で逆転。コルシエラに6-1、6-2で快勝したが準々決勝でジョコビッチに6-2、1-6、3-6で逆転負けした。杉田は初戦敗退。女子の大坂は1回戦でアザレンカ(元1位)に6-0、6-1、3-6の圧勝。2回戦で現1位のクレパに1-6、0-6の完敗。

フエド杯 WG2部復帰
入れ替え戦英を破る
女子国別対抗戦・フエド杯ワールドグループ(WG)2部入れ替え戦の日本-英国(単4)戦、4月21・22日(兵庫)「日本チーム」大坂なおみ(単22位)奈良くるみ(単100位)加藤未唯(サイマックス)二宮 真琴(橋本総業)

WG2部復帰
日本は3勝2敗で勝ち、14年以内のWG2部へ復帰した。初日の単、大坂が7-2位。ワトソンに強サーブで圧勝。奈良は23位。コタに敗れ1勝1敗。最終日、エース対決で大坂がコタに3-6、3-6で屈し沈むチーム。「私が1勝すれば勝てる」と26歳の明るいリーダー。奈良が沈滞ムードを一掃。ワトソンを7-6、6-4で破る。殊勲で2勝2敗のタイに。勢い

連勝も「16」で止まったが、年度対局数73、勝ち数61、勝率8割3分5厘。連勝「29」で4部門1位。「思ったよりも活躍できた」と昨年度を振り返った。

4月末、棋王戦予選で大石七段を下し決勝。5月7日、王座戦1回戦で屋敷九段に勝って8強。8大タイトル戦のうち王座戦、棋王戦、竜王戦で奮戦中。105人出場の「詰め将棋選手権」を唯一人10問正解して4連覇。NHK杯にも昨年に続いて出場。テレビ放映が楽しみだ。

「ヤングマン」早すぎ60歳
西城秀樹。本名木本龍雄(きもと たつお)。歌手。広島市出身。5月16日、急性心不全で死去。63歳。17歳でデビュー。野口五郎、郷ひろみと三軒御三家。「傷だらけのロゼッタ」ヤングマンなどヒット曲。カレのCMも。03年に脳梗塞、11年再発。リハビリで活動再開したが4月末に自宅で倒れ入院。朝丘雪路82歳。星由里子74歳も。

15歳「藤井七段」が誕生

最年少「17歳ひふみん」阪大

藤井聡太君(15歳9か月・7月19日生まれ)が5月18日、竜王戦5組準決勝で船江六段に勝ち、七段昇段を決めた。

3月に初の瀬戸市民栄誉賞。6例目の原特別表彰。将棋連盟特別賞・新人賞を受賞後、王座戦予選で糸谷八段(元竜王・A級)を破って本戦入り。高校生初陣・今年度初戦の棋王戦予選も白星スタート。

中学生としての最終戦・王将戦予選は井上九段に惜敗し、

太六段



市民栄誉賞に笑顔の藤井君。この2か月後、最年少七段

王座・王位・竜王 戴冠挑む

◆小学生名人戦、愛知代表・長澤魁(かい)君(5年)が準優勝。



WG2部復帰を喜ぶ日本チーム

STKニュース
瀬戸市テニス協会業務部発行の会報。原則隔月。昭和50年(1975)創刊。98年から定期刊行。第10号まで梶田俊幸・元理事が制作。11号から理事・近藤峰夫が編集・担当。部数約260。協会員に送付。

次号は混復後・7月末